

早期景気観測調査

【12-1月期 調査結果概要報告書】

平成25年2月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成25年1月15日(火)～31日(木)
4. 調査対象： 当所会員 164事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 121（付帯調査回答数：100）
7. 有効回答率： 73.8%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【12-1月期の動き】

先行きへの期待高まるも、 足元の景況感は依然として厳しい

12-1月期の全業種総合の業況DIは▲36.4と、前期から2.0ポイント改善し、4期ぶりの業況改善となった。しかしながら、仕入単価の上昇と売上の減少に伴う採算の悪化傾向が続いており、引き続き厳しい経営環境にある。一方、従業員には不足感が出ており、金融機関の貸出し姿勢は改善している。安倍政権の経済政策が本格稼働したことに伴い企業心理に改善がみられたが、円安による仕入価格の高騰や公共工事の減少、笹子トンネル事故の影響等により足元の景況感は依然として厳しい水準である。

業種別では、製造業・建設業・小売業において業況が改善し、卸売業・サービス業では悪化となった。製造業では宝飾関係で改善の兆しがみられ、建設業においては常態化していた業況悪化に一服感が伺える。また、小売業は商店街の苦戦が続いているものの、業況としては2期連続の改善となった。一方、卸売業では天候や円安等の影響により2期連続で業況が悪化しており、サービス業は笹子トンネル事故の影響等により4期連続の業況悪化となっている。

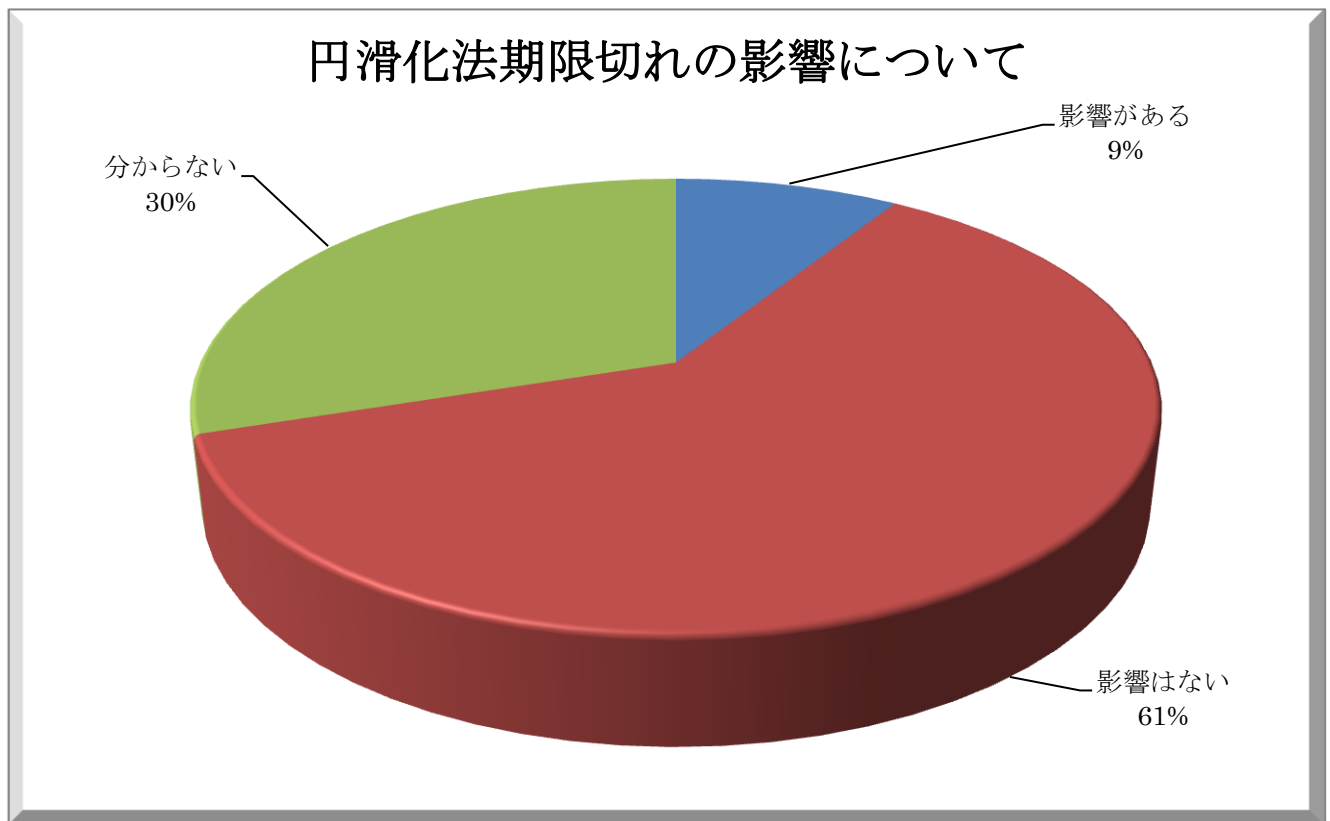
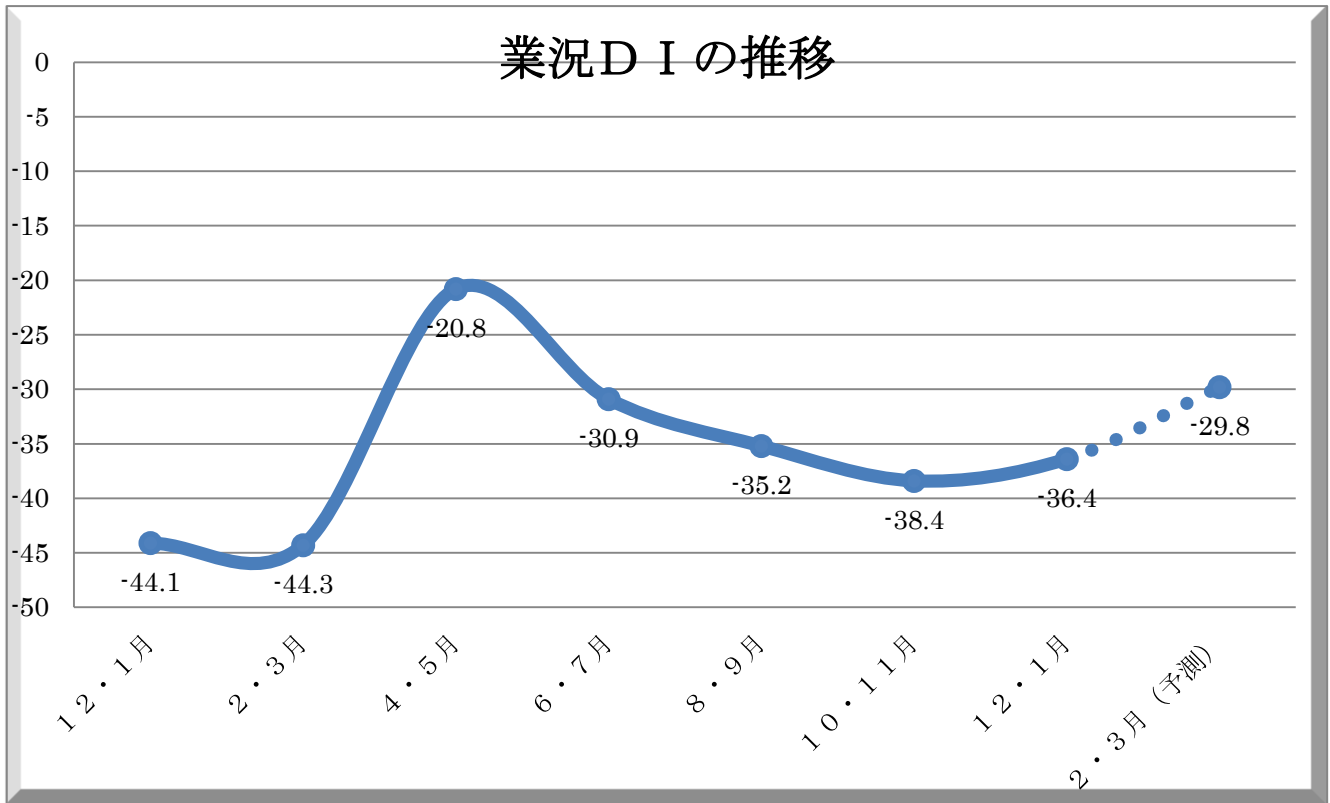
先行きに関しては、先行き業況DIが▲29.8（今期比+6.6ポイント）となっており、大幅に改善する見通しである。しかしながら、為替相場や消費マインド・公共工事の動向等、先行きに対する警戒感も依然として根強い。改善の兆しが本格的な景気回復となるか、今後の動向を慎重に見極める必要がある。

【付帯調査(中小企業金融円滑化法の期限切れに伴う貴社への影響について)】

「影響はない」 約6割

付帯調査として、「中小企業金融円滑化法の期限切れに伴う貴社への影響」について択一回答で尋ねたところ、「影響はない」と回答した事業所が約6割にのぼった。

しかしながら、約1割の事業所が「影響がある」と回答していることに加え、3割の事業所が「分からない」と回答していることを考慮すると、円滑化法の期限切れに伴う影響には若干の懸念がある。

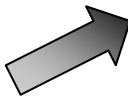




◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

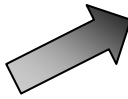
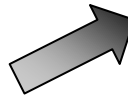


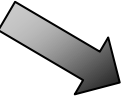


D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」 (改善) と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」 (改善) と表示しております。

◆全業種総合

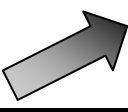
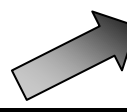
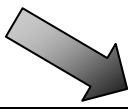
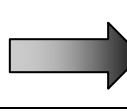
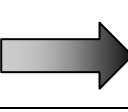
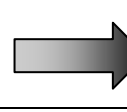
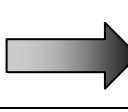
業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲36.4	▲29.8	▲35.5	▲38.0	▲29.8	2.5	▲0.8

12-1月期の全業種総合の業況D I は、**▲36.4** (前期比+2.0ポイント) となり、4期ぶりの改善となった。しかしながら、売上D I は2期連続で悪化しており、採算D I は4期連続、仕入単価D I も3期連続で悪化している。一方、従業員D I は3期連続で改善し不足感が出ており、金融貸出しD I も改善に転じている。

先行きに関しては、大幅な改善を予測している。

◆ 業種別

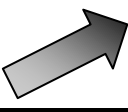
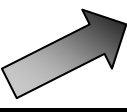
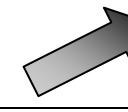
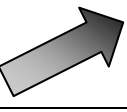
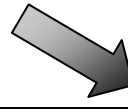
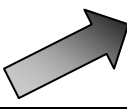
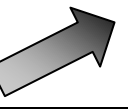
製造業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 25. 0	▲ 15. 6	▲ 15. 6	▲ 25. 0	▲ 31. 3	▲ 3. 1	▲ 3. 1

業況DⅠは若干の改善となった。しかしながら、売上DⅠは悪化に転じており、採算・仕入単価DⅠも前期までの悪化した水準から不変であった。また、従業員DⅠは改善から不変に、金融貸出しDⅠも悪化から不変に転じている。

業況DⅠに関する今後の見通しについては、大幅な改善を予測している。

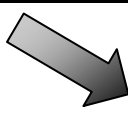
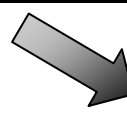
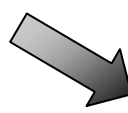
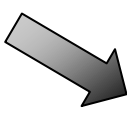
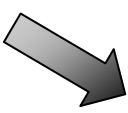
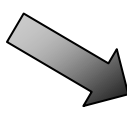
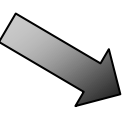
建設業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 35. 0	▲ 30. 0	▲ 35. 0	▲ 45. 0	▲ 30. 0	10. 0	0. 0

業況DⅠは、大幅な改善となった。売上DⅠも改善に転じており、採算DⅠは引き続き改善傾向にある。一方、仕入単価DⅠは4期連続で悪化している。また、従業員・金融貸出しDⅠともに改善しており、従業員DⅠはプラス（不足感）に転じている。

業況DⅠに関する今後の見通しについては、改善を予測している。

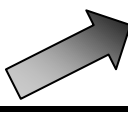
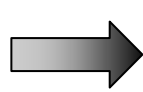
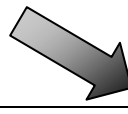
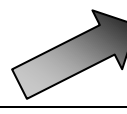
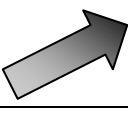
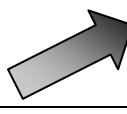
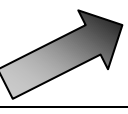
卸売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 4 4 . 4	▲ 5 5 . 6	▲ 2 2 . 2	▲ 2 7 . 8	▲ 4 4 . 4	0 . 0	0 . 0

業況D Iは、2期連続の悪化となった。売上D Iが5期連続で悪化しており、採算D Iも悪化に転じている。また、仕入単価D Iも3期連続で悪化している。一方、従業員・金融貸出しD Iについては、悪化に転じたもののマイナス水準には達していない。

業況D Iに関する今後の見通しについては、大幅な悪化を予測している。

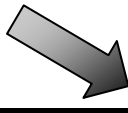
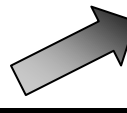
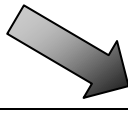
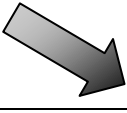
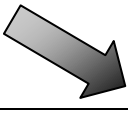
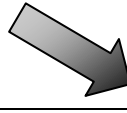
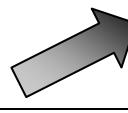
小売業

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 3 7 . 5	▲ 3 7 . 5	▲ 6 2 . 5	▲ 4 3 . 8	▲ 1 5 . 6	6 . 3	0 . 0

業況D Iは2期連続の改善となった。売上D Iが2期連続で悪化しているものの、採算・仕入単価D Iは改善に転じている。また、従業員・金融貸出しD Iについても改善に転じており、従業員D Iはプラス（不足感）となっている。

業況D Iに関する今後の見通しについては、不変を予測している。

サービス業




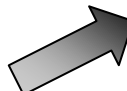


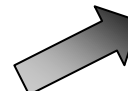
業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 4 7 . 4	▲ 1 5 . 8	▲ 3 6 . 8	▲ 5 2 . 6	▲ 3 6 . 8	0 . 0	0 . 0

業況D Iは4期連続の悪化となった。売上D Iも4期連続で悪化しており、採算D Iは悪化に転じている。また、仕入単価D Iは3期連続で悪化しており、従業員D Iも悪化に転じている。一方、金融貸出しD Iは2期連続で改善している。








業況D Iに関する今後の見通しについては、大幅な改善を予測している。

◆ 業種別詳細








製造業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





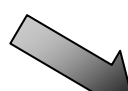

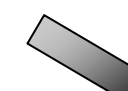
製造業（家具）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





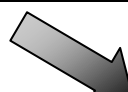


製造業（工業製品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







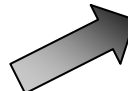
製造業（宝飾）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








製造業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



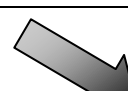
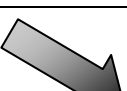
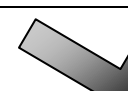

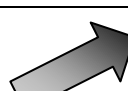
建設業（建築）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


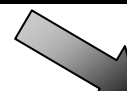
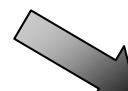
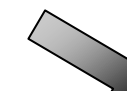
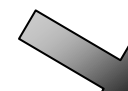
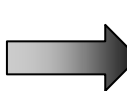
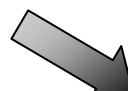
建設業（土木）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


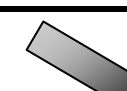


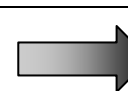


建設業（鉄鋼）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						





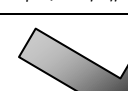
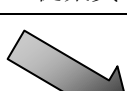
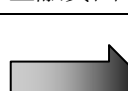
卸売業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（大型店）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（食料品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（事務用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し


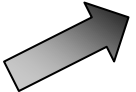


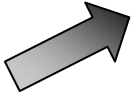

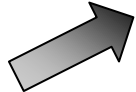
小売業（趣味・日用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し


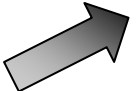





小売業（家電）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

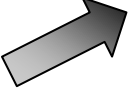

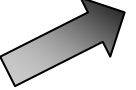
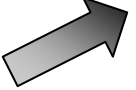



サービス（ホテル・旅館）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

製造業（食品）

- ・前年に比べ大きな変化はないが、売上・利益共に若干向上している。
- ・3月以降の仕入価格が上昇する見込み。輸入原料の仕入戦略の変更を検討。
- ・円安により、輸入原料（大豆、小麦、砂糖等）の高騰が懸念される。また、石油・電力料金の値上げも同様で、運賃等様々な部分に波及するのではないか。
- ・なにしろ「良くない」の一言に尽きる。

製造業（家具）

- ・今まで円高であったので好業績だったが、円安に移行した今、諸物価高騰（材料、電力、石油関係）で、輸出依存でない限り中小企業は大変である。

製造業（工業製品）

- ・水晶デバイス業界は、サムスンとアップルという2大スマートフォンメーカーに市場を席巻されており、彼らに追隨していくことは容易ではない。
- ・鋳造業界は、建機関係などの仕事減が続いており厳しい現状。
- ・自民党に代わり政策面で心強い部分もある。まだ予算決定していない現状の中、昨年夏以降からの暗いイメージの景気は、少しずつではあるが無くなってきている。

製造業（宝飾）

- ・IJTでは、どの会社も好調とのこと。

卸売業（食品）

- ・観光客の減少と天候の影響がある。
- ・全国チェーンのスーパーやドラッグストアが増え、地元スーパーへの影響が懸念される。
- ・納価の下落が続き、売上数量では小幅だが、売上高に換算すると影響が大きい。

卸売業（その他）

- ・円安で仕入価格が上昇し、販売価格に転嫁できず、採算は悪化する見込み。

小売業（大型店）

- ・中心から郊外への顧客流出が目立つ。今後いかに集客が図れるかが課題。

小売業（食料品）

- ・ 笹子トンネル事故による業績悪化が著しい。

小売業（趣味・日用品）

- ・ 当社はホールディンググループとして新たに立ちあがったが、他者はとても厳しい現状と思われる。今冬は寒いので、季節品はとても好調。
- ・ 歳末景気（売出し）やら初売りは、商店街にとっては“死語”になってしまったようだ。
- ・ 通行量の減少→来店客の減少→売上の減少、という厳しい現状。

小売業（家電）

- ・ 価格破壊とまではいかないが、価格競争で利益はここ数年低下の傾向。

サービス業（ホテル）

- ・ 市庁舎、防災新館、甲州夢小路の建設関係者の利用が多いが、1・2月でほぼ完了の為、その後大きな建設がないと、増加は見込めない。また、観光面では、笹子トンネルの事故後、来県者が非常に少なくなっている。

サービス業（観光）

- ・ 笹子トンネル事故の影響大。観光客は減少し、売上も低下している。
- ・ 笹子トンネル事故の影響により、高速バス・サービスエリアの利用者が減少。2月末の開通による回復に期待。
- ・ 中央道のトンネル事故が予想以上に影響しています。

サービス業（飲食その他）

- ・ 従業員の不足が続き、在職者の健康不安に影響している。
- ・ とにかく、主品の「ウナギ」の価格が高すぎて、経営的にもイメージとしても大変な一年だった。
- ・ このところの円安・株高傾向は山梨経済に良い影響を与えるのか、それとも、もう少し時間が必要なのか判断がつかない。国文祭を積極的にPRし、本県を訪れる観光客が増えることを期待したい。

建設業（建築）

- ・ とにかく受注金額が原価割れになりそうな状況である。
- ・ 夏以降多少改善されそう。採算は良くならない。

建設業（土木）

- ・労務手不足傾向（型枠、鉄筋、土工など）にあり、公共事業の発注増はありがたいが、労務キャパシティを良く見極めなければ不完全燃焼になりかねない。
- ・工事は減少しており、値段は低価格競争。金融円滑化法が終了すると、建設関係の企業は最悪の状態になる。

建設業（鉄鋼）

- ・年度末になるので、工事が終了している状況。
- ・仕事量も少なく、単価もきびしいため、非常に厳しい状況
- ・東日本大震災の復興事業が動き出し、発注量が増えている。

